

岡山県医療対策協議会 平成23年度第1回会議（概要）

○日 時 平成23年5月6日（金）13:00～15:00

○場 所 三光荘 パブリゾン

【岡山県地域医療再生計画について】

- ・岡山県として本当に問題になっている点と、これからゆっくり考えていくべきものについて、ある程度メリハリをつける必要がある。今回の素案では、県南東部の自治体病院をどのようにしていくかという方向性が示されているが、県南西部には福山市との関係もあり、一步踏み出した提言が必要だ。
- ・今回、県北の基幹病院として、高校・大学受験を控えた中堅医師向けに単身赴任用住宅を整備することで、医師確保が進むのではないかと提案した。県全体としては、後方病院の整備に尽きると思う。
- ・内視鏡外科専門医が少ないといわれているが、津山地域に研修センターを整備すれば、医師が集まり、県北の医療を充実できる。
- ・救急医療については、救急医師がかなり疲弊しており対策が必要である。内視鏡外科医の育成については、外科医を目指している医師の研修を引き続き実施し、中四国に派遣するシステムが循環すれば、これから進展していくと思う。済生丸は、平時に加え災害時も自己完結型で出動できることから、大きな病院船を整備するよりも効果的だ。
- ・お金で解決する問題と、行政の力が求められる問題を分けて考える必要がある。また、県単位の努力で出来るものと、医師数など国全体の方針に関わる問題があり、これらを区分して考えないといけない。
- ・大きく分ければ、地域医療に関する問題、救急・災害に関する問題、医療機関の役割分担に関する問題があり、自治体病院の機能を集約して役割分担させる方向性を出したのは良い。
- ・4疾病5事業が盛り込まれており、我々が求めた内容になっている。また、災害拠点病院の数が中国地方の中で相対的に少ないことから、さらに充実させる必要がある。
- ・岡山大学と川崎医科大学が連携して、地域医療を支える人材を確保することが長期的には一番大きい。いかに良い人材を確保するかということと、地域医療マインドを持った学生、研修医、医師をいかに育成するかということだ。また、医師のスキルアップ、連携、生涯教育という観点の基盤整備も必要だ。役割分担については、いろいろな角度からもう少し具体的に考えていくことが必要だ。

- 大学病院は最後の砦であり、地域に役立つ病院として、三次救急や災害拠点の役割を担っていききたい。また、岡山大学病院は全国的に外科で有名であることから、日本全国から外科を志す者が集まる目玉として、低侵襲外科治療センターを整備したいと考えている。
- 県内の現状、課題、対策と大体網羅されているが、どの事業に重点化していくかがこれからの課題だ。県南東部の自治体病院の再編は大きなモデルになると思う。周辺の民間病院がこの再編にどう絡んでいくかという部分での展開があるとなお良い。
- 人材の確保・育成に尽きると思う。専門的に学んだ看護師が地域とどう連携していくかが課題であり、地域の実情に合ったことを細やかに取り組んでいきたい。
- 5月末に自治体病院協議会があるので、計画素案の内容を示した上で自治体病院のあり方を検討したい。素案の現状分析に、総合内科専門医が不足しているとの記述があるが、総合内科専門医が必ずしも地域医療のためのものではない面もあるので、修正したほうが良い。
- 新見市では、平成26年度に渡辺病院の移転新築が完成予定であるが、医師を確保できるかどうか懸念している。また、ドクターヘリの夜間運航については、今回の計画素案に盛り込まれていないが、自治体も負担する覚悟はあるのでぜひ検討して欲しい。
- 自治体病院は二次救急の受け入れ、リハビリなどの重要な仕事を担っている。県には救急ヘリの対応をお願いしたいが、中山間地域で増えてきている多動性症候群など小児の精神病にも対応していただきたい。
- 医師派遣については、本人の自主性によるので、地域の病院は来てもらいやすい環境を整え、大学は地域医療マインドを持った医師を育成することが必要だ。
- リハビリについては、これまで多くの理学療法士、作業療法士を輩出してきているが、まだ足りない状況だ。
- 障害児総合医療・療育センターについては、以前から重症心身障害児施設やNICUを持つ病院から要望されてきた。在宅で療育・療養している重症心身障害児（者）の実態がなかなか分からない面があるため、在宅サービスの状況を十分把握して、在宅への支援も併せて考えて欲しい。
- 精神科は他科との連携がうまくいかない面がある。他県では県立の総合病院があるため、連携機能を担えている。

- 岡山県の精神科医療は全国的に充実している方だと思うが、総合病院の精神科は充実していない。県立の精神科（単科の病院）という独特のものがあり影響しているのかもしれない。他科との連携は難しいが、総合病院で精神科が充実した体制になれば良いと思う。
- 認知症や精神疾患の方が非常に増えており、一般救急に来たときに閉口しているところがあるので、認知症や精神疾患への対策が事業としてプラスされると非常に良い。
- 岡山県は精神科単科の病院が多く、総合病院の精神科が充実していないのが大きな問題だ。認知症はそれぞれがタイアップしないと対応できない。
- 課題を大きく分けると、地域に医師をどう送るかということと、患者を地域の中でどううまく回していくかということだ。病床配置をどうするか、施設の診療機能をどうするか、急性期病床の機能転換をどうするかなど、今あるものをいかに有効に使うかについて行政が指針を出すべきである。